

令和２年度 森林環境譲与税の取組について

日田市林業振興課
令和３年９月24日

令和２年度までの森林環境譲与税を財源とした事業一覧

年度	事業名	譲与税充当額	使途区分
令和元年度 (決算)	1、森林経営管理推進事業 4、林道巡視維持改善事業 8、豊かな森づくり担い手育成事業 9、日田材普及啓発事業 11、公共建築物の木造・木質化 ■令和元年度森林環境譲与税額：82,965千円	43,163千円	①森林整備 ②人材育成・担い手確保 ③木材利用の促進 (留保額：39,802千円)
令和 2年度 (決算)	1、森林経営管理推進事業	27,559千円	①森林整備
	2、森林整備総合対策事業	35,000千円	①森林整備
	3、森林機能強化対策事業	3,250千円	①森林整備
	4、林道巡視維持改善事業	3,397千円	①森林整備
	5、林道維持補修事業	11,547千円	①森林整備
	6、林道作業道補修用原材料支給事業	26,298千円	①森林整備
	7、優良竹林化整備事業	3,238千円	①森林整備
	8、豊かな森づくり担い手育成事業	1,982千円	②人材育成・担い手確保
	9、日田材普及啓発事業	1,668千円	③木材利用の促進
	10、木の香るまちづくり事業	3,736千円	③木材利用の促進
	11,12、公共建築物の木造・木質化 (→対象：前津江振興局新築、三隈川公園ウッドデッキ改修)	17,700千円	③木材利用の促進
	13、木育推進事業	2,634千円	④普及啓発
	14、市民参加の森づくり事業	コロナで中止	④普及啓発
	15、森林・林業・木材産業に関する市民参加講座の実施		
	■令和２年度森林環境譲与税額：176,300千円	小計：138,009千円	(留保額：38,291千円)
累計	■令和元～２年度森林環境譲与税額：259,265千円	合計：181,172千円 (約7割活用)	留保額：78,093千円 →森林整備、木材利用に活用

令和2年度森林環境譲与税活用決算状況

使途 区分	事業名	事業内容	R2実績数量	総事業費	充当額実績	(参考) R3譲与税 当初予算
1	森林経営管理推進事業	(1)未整備森林把握のため、航空レーザ計測データを活用した森林資源解析(R1～R2：債務負担行為) (2)未整備森林の現況調査及び現況調査を行うための森林施業履歴等データ作成業務 (3)未整備森林の所有者に対し、森林経営の意向調査等の実施（会計年度職員人件費I、消耗品費、通信運搬費等） (4)市内の林業・木材産業関係者や行政機関を委員として設置した連絡協議会の開催（委員謝礼等）	市南部地域の森林資源 解析実施面積 (約36,000ha) ・未整備森林現地調査 192ha(大山, 前津江, 高瀬) ・5年間の施業履歴等 意向調査:約22ha (前津江、高瀬) 連絡協議会 (委員17名)2回開催	14,410,000円 5,038,000円 5,610,000円 2,287,114円 214,451円	<u>27,559,565円</u>	46,882千円
2	森林整備総合対策事業	公共造林事業（木材収益のない切捨間伐、下刈、シカネット対象）について市の上乗せ補助を実施	切捨間伐40.98ha 下刈り544.9ha シカネット45,949m	87,558,620円	<u>35,000,000円</u>	45,000千円
3	森林機能強化対策事業	防災拠点施設(公民館等)周辺森林のうち、整備不十分で防災機能の発揮に支障をきたす恐れのある危険木伐採への支援	7団体(7箇所:殿町, 求町, 大鶴, 五馬市等) 実施面積2,800㎡	3,250,336円	<u>3,250,336円</u>	5,200千円
4	林道巡視維持改善事業	未整備森林の整備に必要な林道150路線のパトロール・維持管理を実施	150路線 (シルバー人材センター委託)	3,396,600円	<u>3,396,600円</u>	3,550千円
5	林道維持補修事業	未整備森林の調査・整備に必要な林道の維持改良等	補修、落石除去等 19路線	11,547,470円	<u>11,547,470円</u>	15,000千円
6	林道作業道補修用原材料支給事業	林道・作業道に、縦断勾配の大きい箇所や路面洗掘の著しい箇所へ、生コン、砕石等の資材を提供し路面補修を行うもの	76路線:5055.5m 生コン:1,931㎡ 砕石669㎡, 目地材165㎡	26,297,810円	<u>26,297,810円</u>	28,000千円
7	優良竹林化整備事業	荒廃した竹林整備により、タケノコや竹材の生産地として再生させ所得向上や林地災害防止を図る	竹粉碎機購入:1台	4,619,394円	<u>3,238,200円</u>	—

令和2年度森林環境譲与税活用決算状況

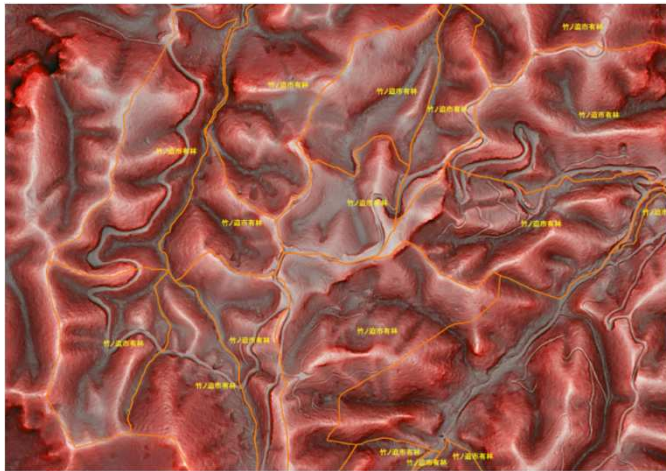
使途 区分		事業名	事業内容	R2実績数量	総事業費	充当額実績	(参考) R3 譲与税予算
8	人材育成 ・担い手確保	豊かな森づくり担 い手育成事業	(1)チェーンソー防護衣・安全靴・空調 服・無線等の労働安全装備の助成	助成実績:17事業体 対象者235人	2,041,854円	1,981,854円	4,671千円
			(2)国のフォレストリーダー(FL)又はフォレストマネージャー (FM)の研修修了者に対する林業就業定着 支援奨励金の支給	支給実績5人 (FL4名、FMI名)	550,000円		
9	木材利用 の促進	日田材普及啓発 事業	大消費地での販路拡大に向け、県の「お おいた材プロモーション活動支援事業」の事 業主体「おおいた材利用促進協議会」への負 担金及び市内製材所等の労働環境整備促進	販売拠点(約6カ月) 4箇所設置、 労働環境整備7事業所	3,137,968円	1,667,768円	5,960千円
10		木の香るまちづく り事業	不特定多数の目に触れる場所での日田材 のPRを行うため、市内外における店 舗・病院等の公共的施設や東屋・防護柵 等の工作物などの木質化に対する支援	実績件数:13件、 日田材使用量17.2㎡	3,735,600円	3,735,600円	3,740千円
11		前津江振興局建替 事業	公共施設の木造木質化を行う(前津江振 興局建替えに伴う新築主体工事)	木材使用量:55.4㎡	153,065,000円	15,000,000円	—
12		三隈川公園ウッド デッキ改修事業	公共施設の木造木質化を行う(三隈川公 園ウッドデッキ大規模改修)	木材使用量:16.0㎡	9,486,400円	2,700,000円	—
13	普及啓発活動	木育推進事業	子どもが生まれた世帯に対し木製品の記 念品を配布し、木に触れ合う機会を創出	木製記念品 森林(林)の木箱500個	2,633,950円	2,633,950円	2,874千円
14		市民参加の森づく り事業	植林等を行う市民参加の森づくり大会を 開催	コロナで中止	—	—	639千円
15		市民講座・木と暮 らしのフェア開催	市民に対し森林・林業・木材産業に関す る普及啓発等を目的に、関連する講座を 開催するほか、木と暮らしのフェア開催	コロナで中止	—	—	2,000千円
令和2年度森林環境譲与税額:176,300千円				令和2年度:充当合計額		138,009,153円	163,516千円

森林資源解析の結果について

森林資源解析業務(R1~2)は、平成28年度の熊本地震を受けて林野庁が実施した航空レーザ計測データ等(市南部地域を対象)を活用し、①地形解析や②森林資源解析、③ゾーニング(森林区分)のほか、意向調査実施の優先順位検討を行うなど、森林経営管理制度に必要な森林情報を整備することで、森林の適切な管理と林業・木材産業の発展を図るものである。

※なお、市北部地域の①地形解析②森林資源解析は、R2に大分県が実施済みで、③ゾーニング等はR3に日田市で実施中。

①地形解析：微地形表現図(赤色立体図)、傾斜区分図



【赤色立体図の特徴】

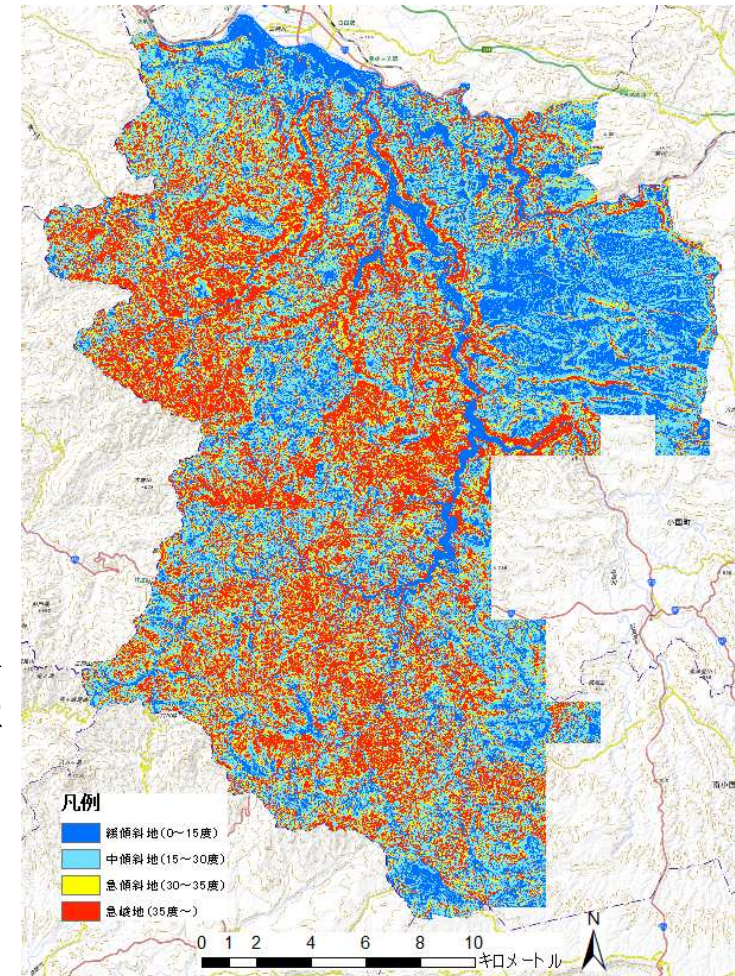
- (1)尾根を明るく、谷底ほど暗く色調整し、急傾面であるほど赤を強く着色した地図であり、詳細な微地形を立体的に把握できる。
- (2)森林整備に必要な基盤情報となる既設の路網(幅2.5m程度まで)を把握でき、路網整備の計画策定に際して参考となるもの。



(参考)航空写真

【傾斜区分図の特徴】

- (1)傾斜区分から適切な作業システムとその際の路網密度等を考慮し、赤色立体図と組み合わせながら、路網設置に関して効率的な作業を促進する。
- ・緩傾斜地0~15度
 - ・中傾斜地15~30度
 - ・急傾斜地30~35度
 - ・急峻地35度~



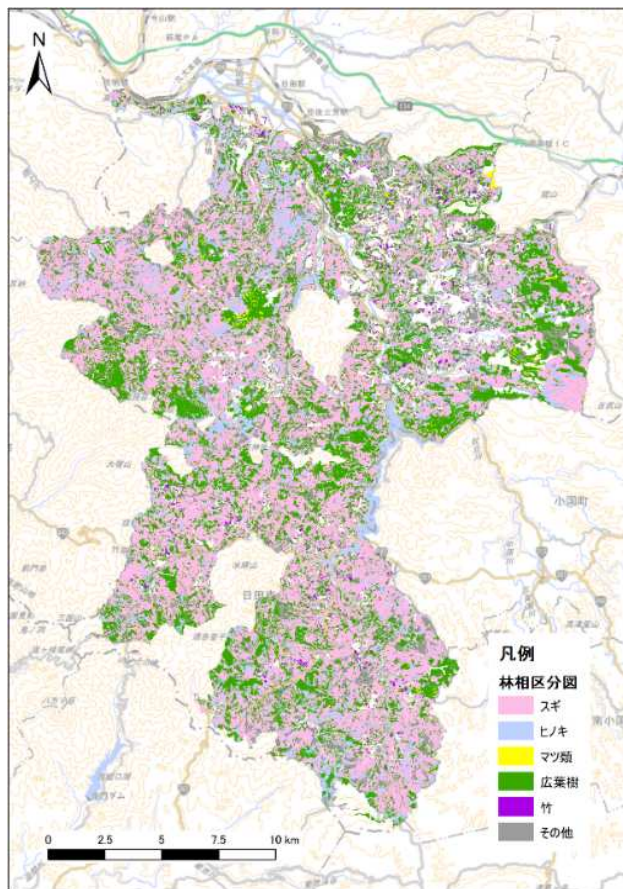
傾斜区分図

森林資源解析の結果について

②森林資源解析

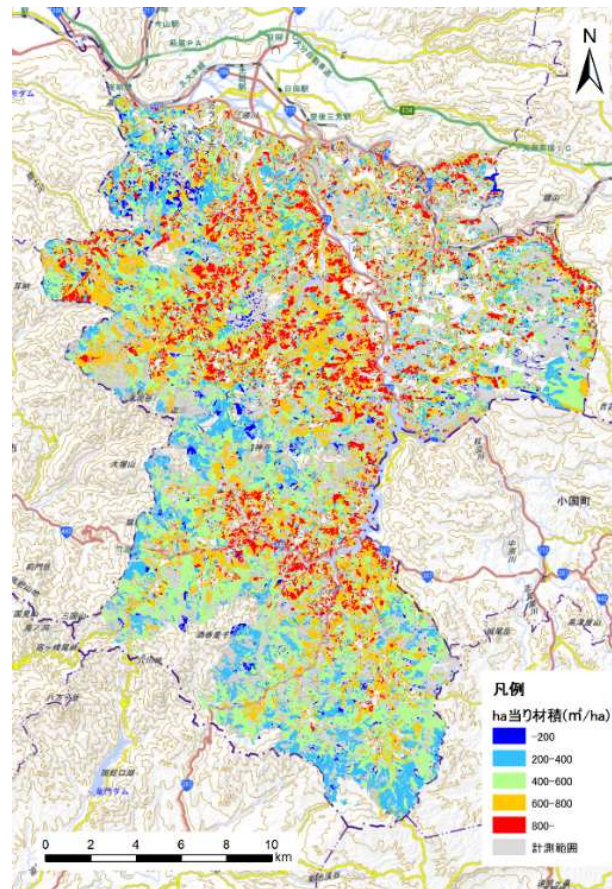
- ・【資源の配置】林相区分図、立木材積分布図(m^3/ha)、立木密度分布図、平均樹高区分図
- ・【過密の状況】相対幹距比分布図(林分の混み具合) ※レーザ計測で得られた樹高と立木密度(本/ha)を用い、樹高と樹木間の(樹幹)距離の比率。値が小さいほど、過密状態である。

林相区分図



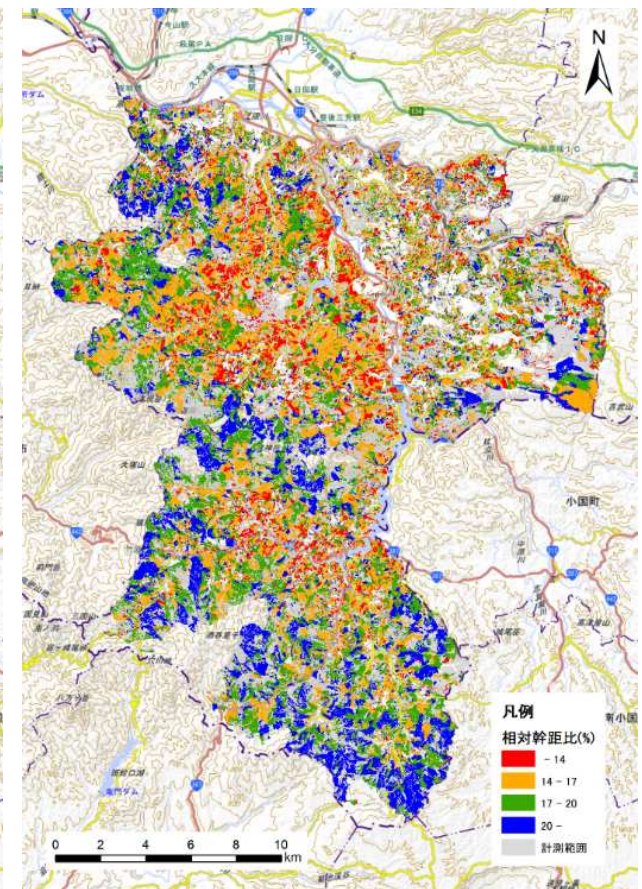
※南部地域(約3.6万ha)の林相判読結果
スギ:約50%(1.8万ha)、ヒノキ:約12%(0.4万ha)
広葉樹:約27%(1万ha)

立木材積分布図



※上図は、スギ・ヒノキ合算分
・スギ:ha当たり材積400~600 m^3 の林分が多く35%
・ヒノキ:ha当たり材積200~400 m^3 の林分が多く53%

相対幹距比分布図



※密度が高いとされる相対幹距比17%を下回る林分は、スギで48%、ヒノキで30%を占めている。

森林資源解析の結果について

森林資源解析業務(R1~2)は、平成28年度の熊本地震を受けて林野庁が実施した航空レーザ計測データ等(市南部地域を対象)を活用し、①地形解析や②森林資源解析、③ゾーニング(森林区分)のほか、意向調査実施の優先順位検討を行うなど、森林経営管理制度に必要となる森林情報を整備することで、森林の適切な管理と林業・木材産業の発展を図るものである。

STEP1

日田市内の広範な対象地の中で、管理制度による意向調査の対象地域の絞込みを実施

各林班(約50ha)を単位として、人工林率、森林経営計画策定率、施業面積、過密林分率、路網密度等により、意向調査対象を決定

STEP2

林班エリア内における収益性を判定
(ゾーニングの実施)

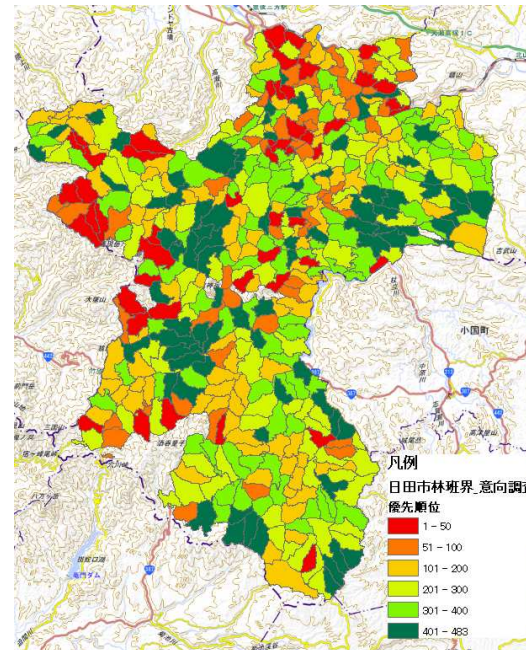
各地番ごとに樹木の成長度合い(地位)や森林へのアプローチ(地利)から、ゾーニング①~④までの区分にて、その収益性を判断

STEP3

➡ 意向調査の実施

路網計画、森林整備計画等の立案後、森林整備

路網整備支援や森林経営計画への参画、市町村森林管理事業実施



STEP 1: 未整備森林解消のための意向調査又は森林整備の優先順位付け
 → 現段階で林班毎に比較して相対的に森林整備が遅れている林班を抽出。
【優先順位高いもの】

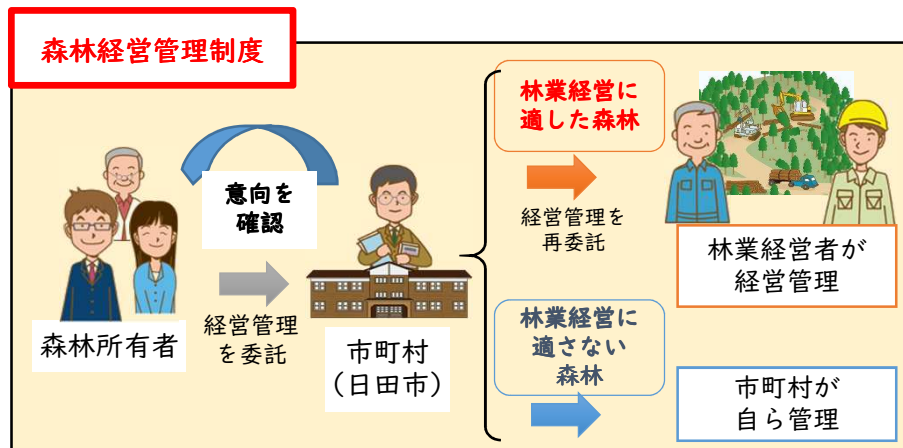
- ・ 経営計画対象面積率が低い林班
- ・ 人工林率に対し施業履歴(実績)が低い林班
- ・ 過密林分率の高い林班
- ・ 路網密度が低い林班

意向調査の実施状況について

令和元年度に森林経営管理法（以下「管理法」という。）が施行され、森林所有者に森林の適正管理を義務付けるとともに、手入れの行き届いていない森林の管理について、市町村を仲介役として実施する制度が創設された。

これを受けて市では、管理法及び日田市森林整備計画に基づき、森林の多面的機能の発揮を目指し、経営管理が行われていない森林を対象に、当該森林の今後の経営管理の意向を伺い、これを踏まえ、市による経営管理権の設定のほか、林業適地による路網整備支援や森林経営計画への参画等を進めていく。

事業スキーム



対象箇所の選定

本市の民有林総面積の約8割について、森林経営計画が策定されている中、

- ① 森林資源解析結果を活用して未整備森林を抽出
- ② 意向調査又は森林整備の優先される林班から、未整備森林区域を日田市森林整備計画に定める。

→当該未整備森林区域内(8林班)を対象に、意向調査を実施

◎調査対象条件

1. 人工林であること（スギ・ヒノキ）
2. 森林経営計画未加入及び施業受託を行っていない者
3. 施業履歴がないこと（過去10年程度）
4. 私有林であることなど（行政機関、水資源機構を除外）

意向調査の実施概要

R2 調査林班	所有者	未整備 現地調査	経営計画有 施業受託有	意向調査 対象者	意向調査 面積	対象 筆数
高瀬221	60人	78.83ha 147件	172件	1人	1.39ha	1筆
前津江 299, 323	28人	79.64ha 103件	73件	10人	20.68ha	17筆

R2：回収数 9人(11人中) 回収率 82%

市への経営管理の委託意向のある者 1人(面積0.73ha)

⇒(対応)R3路網整備支援後、隣接の経営計画への参画を検討

※その他8人は、
経営管理を事業
体等に委任

(参考) R3 調査林班	所有者	未整備 現地調査	経営計画有 施業受託有	意向調査 対象者	意向調査 面積	対象 筆数
高瀬220	84人	72.56ha 225件	154件	0人	—	0筆
前津江 300	66人	91.13ha 252件	119件	32人	36.56ha	48筆
大山 633, 634 , 635	51人	77.83ha 335件	106件	25人	33.35ha	36筆

R3：回収数 48人(57人中) 回収率 84%

市への経営管理の委託意向のある者 13人(面積10.82ha)

⇒隣接の経営計画へ参画、経営管理設定後の市町村森林管理事業検討